

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 秋田県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	循環器・脳脊髄センター	2
-	リハビリテーション・精神医療センター	3
秋田市	秋田総合病院	4
横手市	横手病院	5
横手市	大森病院	6
大館市	総合病院	7
大館市	扇田病院	8
男鹿市	男鹿みなと市民病院	9
大仙市	大曲病院	10
北秋田市	北秋田市民病院	11
北秋田市	阿仁病院	12
北秋田市	米内沢総合病院	13
仙北市	田沢湖病院	14
仙北市	角館総合病院	15
羽後町	羽後病院	16

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 秋田県	
市町村・組合名			
病院名	循環器・脳脊髄センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	959,502
決算規模(千円)	656,143,335
標準財政規模(千円)	338,997,322
財政力指数	0.31066
経常収支比率(%)	86.6
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	14.9
将来負担比率(%)	229.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,051			
1 経常収益	1,051			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,051			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,051			
2 経常費用	1,051			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	-	-	9.0	10.4
経費	-	-	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,051			
(うち支払利息)	1,051	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名			
病院名		リハビリテーション・精神医療センター	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	959,502
決算規模(千円)	656,143,335
標準財政規模(千円)	338,997,322
財政力指数	0.31066
経常収支比率(%)	86.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	94,009			
1 経常収益	94,009			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	94,009			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	94,009			
2 経常費用	94,009			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	-	-	9.0	9.2
経費	-	-	22.5	21.2
(うち委託料)	-	-	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	94,009			
(うち支払利息)	94,009	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	106.9
医業収支比率	-		85.1	85.8
修正医業収支比率	-		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	96.5

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	秋田市		
病院名	秋田総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	307,672
決算規模(千円)	161,777,061
標準財政規模(千円)	74,230,208
財政力指数	0.66
経常収支比率(%)	88.1
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	8.8
将来負担比率(%)	81.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,241			
1 経常収益	10,241			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,241			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,241			
2 経常費用	10,241			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	57.5
材料費	-	-	25.3	27.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	12.6
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.1
(うち委託料)	-	-	12.5	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,241			
(うち支払利息)	10,241	-	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	88.4
修正医業収支比率	-		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	横手市				
病院名	横手病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,112 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	225	65.5	64.5	74.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	26.7	-	-
計	229	64.9	63.4	73.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.8	12.2

設立団体の状況	
人口(人)	85,555
決算規模(千円)	57,968,592
標準財政規模(千円)	31,144,723
財政力指数	0.33
経常収支比率(%)	91.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	7.2
将来負担比率(%)	13.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,110,918			
1 経常収益	5,102,307			
(1) 医業収益	4,638,587			
(うち修正医業収益)	4,529,305			
入院収益	2,870,525			
外来収益	1,398,693			
診療収入計	4,269,218			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	369,369			
(うち他会計負担金)	109,282			
(2) 医業外収益	463,720			
(うち国・都道府県補助金)	244,865			
(うち他会計補助・負担金)	188,098			
(うち長期前受金戻入)	10,513			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,611			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,267,727			
2 経常費用	5,258,861			
(1) 医業費用	5,228,491			
職員給与費	2,878,491	62.1	60.2	64.0
材料費	1,035,260	22.3	25.3	19.9
(うち薬品費)	491,260	10.6	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	542,686	11.7	11.6	9.6
減価償却費	355,138	7.7	9.0	9.9
経費	946,825	20.4	22.5	28.4
(うち委託料)	342,576	7.4	12.5	13.7
研究研修費	7,980			
資産減耗費	4,797			
(2) 医業外費用	30,370			
(うち支払利息)	29,370	0.6	1.2	1.3
(3) 特別損失	8,866			
損益				
経常	-156,554			
純	-156,809			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.0		105.6	104.2
医業収支比率	88.7		85.1	81.4
修正医業収支比率	86.6		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	5.8		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.4		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	5.8		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	91.4		93.6	91.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,093,854
1 固定資産	6,942,225
(1) 有形固定資産	6,931,425
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	10,800
2 流動資産	5,151,629
(1) 現金及び預金	4,009,372
(2) 未収金及び未収収益	1,062,270
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	79,987
3 繰延資産	-
負債合計	6,686,311
1 固定負債	5,191,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,193,837
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,330,085
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	665,307
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	256,243
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	364,147
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	165,084
(1) 長期前受金	856,949
(2) 長期前受金収益化累計額()	691,865
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,407,543
1 資本金	5,801,301
2 剰余金	-393,758
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-393,758
負債・資本合計	12,093,854
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	353,023	297,380
資本勘定繰入	216,879	162,736
計	569,902	460,116

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	横手市				
病院名	大森病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	9,564 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	100	91.1	87.9	95.2
療養	50	74.0	76.3	89.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	85.4	84.0	93.2
平均在院日数(一般病床のみ)		33.2	32.3	34.2

設立団体の状況		
人口(人)	85,555	
決算規模(千円)	57,968,592	
標準財政規模(千円)	31,144,723	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	13.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,419,848			
1 経常収益	2,413,248			
(1) 医業収益	2,171,177			
(うち修正医業収益)	2,112,150			
入院収益	1,501,879			
外来収益	450,147			
診療収入計	1,952,026			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	219,151			
(うち他会計負担金)	59,027			
(2) 医業外収益	242,071			
(うち国・都道府県補助金)	59,056			
(うち他会計補助・負担金)	124,611			
(うち長期前受金戻入)	13,370			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	6,600			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,468,715			
2 経常費用	2,461,545			
(1) 医業費用	2,430,120			
職員給与費	1,379,822	63.6	60.2	66.7
材料費	298,909	13.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	140,648	6.5	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	153,830	7.1	11.6	9.2
減価償却費	179,224	8.3	9.0	10.4
経費	558,665	25.7	22.5	28.7
(うち委託料)	251,626	11.6	12.5	13.3
研究研修費	4,548			
資産減耗費	8,952			
(2) 医業外費用	31,425			
(うち支払利息)	31,181	1.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	7,170			
損益	-48,297			
純損益	-48,867			
累積欠損金	569,912			
経常収支比率	98.0		105.6	105.7
医業収支比率	89.3		85.1	80.6
修正医業収支比率	86.9		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	7.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	90.6		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,093,854
1 固定資産	6,942,225
(1) 有形固定資産	6,931,425
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	10,800
2 流動資産	5,151,629
(1) 現金及び預金	4,009,372
(2) 未収金及び未収収益	1,062,270
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	79,987
3 繰延資産	-
負債合計	6,686,311
1 固定負債	5,191,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,193,837
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,330,085
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	665,307
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	256,243
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	364,147
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	165,084
(1) 長期前受金	856,949
(2) 長期前受金収益化累計額()	691,865
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,407,543
1 資本金	5,801,301
2 剰余金	-393,758
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-393,758
負債・資本合計	12,093,854
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	227,258	183,638
資本勘定繰入	171,775	162,619
計	399,033	346,257

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	大館市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	43,439 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	25	指定病院の状況	救臨が感災		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	375	65.1	63.0	69.0
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	60	36.7	41.9	48.3
感染症	2	-	-	-
計	443	60.1	59.0	65.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.1	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	69,237	
決算規模(千円)	44,631,079	
標準財政規模(千円)	22,505,831	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	82.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,673,684			
1 経常収益	10,670,429			
(1) 医業収益	9,074,338			
(うち修正医業収益)	8,942,535			
入院収益	4,955,956			
外来収益	3,735,576			
診療収入計	8,691,532			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	382,806			
(うち他会計負担金)	131,803			
(2) 医業外収益	1,596,091			
(うち国・都道府県補助金)	311,127			
(うち他会計補助・負担金)	1,124,905			
(うち長期前受金戻入)	87,548			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,255			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,136,848			
2 経常費用	11,131,931			
(1) 医業費用	10,485,276			
職員給与費	4,956,824	54.6	60.2	57.5
材料費	2,640,808	29.1	25.3	27.9
(うち薬品費)	1,592,905	17.6	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,019,214	11.2	11.6	12.6
減価償却費	469,133	5.2	9.0	8.1
経費	2,354,987	26.0	22.5	19.1
(うち委託料)	1,079,122	11.9	12.5	10.0
研究研修費	23,597			
資産減耗費	39,927			
(2) 医業外費用	646,655			
(うち支払利息)	120,897	1.3	1.2	1.1
(3) 特別損失	4,917			
損益				
経常収支比率	95.9		105.6	105.7
医業収支比率	86.5		85.1	88.4
修正医業収支比率	85.3		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	11.8		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	11.8		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	84.6		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,088,885
1 固定資産	9,598,167
(1) 有形固定資産	9,567,664
(2) 無形固定資産	10,733
(3) 投資その他の資産	19,770
2 流動資産	2,490,718
(1) 現金及び預金	493,482
(2) 未収金及び未収収益	1,911,119
(3) 貸倒引当金()	2,164
(4) 貯蔵品	85,854
3 繰延資産	-
負債合計	11,162,332
1 固定負債	6,910,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,615,488
(2) その他の企業債	278,849
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	3,344,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	732,320
(2) その他の企業債	21,151
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	370,787
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,400,000
(8) 未払金及び未払費用	766,317
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	907,178
(1) 長期前受金	2,139,339
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,232,161
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	926,553
1 資本金	3,240,207
2 剰余金	-2,313,654
(1) 資本剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-2,442,192
負債・資本合計	12,088,885
不良債務	149,929
実質資金不足額	149,929
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,256,708	1,256,708
資本勘定繰入	301,453	301,453
計	1,558,161	1,558,161

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	149,929	1.5
令和2年度	-	-
令和元年度	98,812	1.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.1
健全化法上の資金不足額(千円)	149,929
健全化法上の資金不足比率(%)	1.4
地財法上の資金不足額(千円)	428,778
地財法上の資金不足比率(%)	4.2

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	大館市				
病院名	扇田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,305 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	62	57.6	53.6	74.0
療養	42	75.3	75.0	86.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	104	64.8	62.3	79.0
平均在院日数(一般病床のみ)		4.0	15.1	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	69,237	
決算規模(千円)	44,631,079	
標準財政規模(千円)	22,505,831	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	82.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,297,352			
1 経常収益	1,297,316			
(1) 医業収益	1,050,812			
(うち修正医業収益)	1,039,632			
入院収益	685,950			
外来収益	278,606			
診療収入計	964,556			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	86,256			
(うち他会計負担金)	11,180			
(2) 医業外収益	246,504			
(うち国・都道府県補助金)	6,889			
(うち他会計補助・負担金)	196,477			
(うち長期前受金戻入)	38,173			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	36			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,360,586			
2 経常費用	1,360,586			
(1) 医業費用	1,321,517			
職員給与費	765,193	72.8	60.2	66.7
材料費	113,203	10.8	25.3	17.8
(うち薬品費)	31,341	3.0	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	69,832	6.6	11.6	9.2
減価償却費	82,384	7.8	9.0	10.4
経費	359,058	34.2	22.5	28.7
(うち委託料)	177,762	16.9	12.5	13.3
研究研修費	715			
資産減耗費	964			
(2) 医業外費用	39,069			
(うち支払利息)	501	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	95.3		105.6	105.7
医業収支比率	79.5		85.1	80.6
修正医業収支比率	78.7		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	16.0		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	19.8		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	16.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	80.1		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,088,885
1 固定資産	9,598,167
(1) 有形固定資産	9,567,664
(2) 無形固定資産	10,733
(3) 投資その他の資産	19,770
2 流動資産	2,490,718
(1) 現金及び預金	493,482
(2) 未収金及び未収収益	1,911,119
(3) 貸倒引当金()	2,164
(4) 貯蔵品	85,854
3 繰延資産	-
負債合計	11,162,332
1 固定負債	6,910,237
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,615,488
(2) その他の企業債	278,849
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	3,344,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	732,320
(2) その他の企業債	21,151
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	370,787
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	1,400,000
(8) 未払金及び未払費用	766,317
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	907,178
(1) 長期前受金	2,139,339
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,232,161
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	926,553
1 資本金	3,240,207
2 剰余金	-2,313,654
(1) 資本剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-2,442,192
負債・資本合計	12,088,885
不良債務	149,929
実質資金不足額	149,929
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	207,657	207,657
資本勘定繰入	20,137	20,137
計	227,794	227,794

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	149,929	1.5
令和2年度	-	-
令和元年度	98,812	1.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.1
健全化法上の資金不足額(千円)	149,929
健全化法上の資金不足比率(%)	1.4
地財法上の資金不足額(千円)	428,778
地財法上の資金不足比率(%)	4.2

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	男鹿市				
病院名	男鹿みなと市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,936 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	13	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	145	71.4	78.5	79.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	145	71.4	78.5	79.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.2	18.2	18.4

設立団体の状況	
人口(人)	25,154
決算規模(千円)	17,967,558
標準財政規模(千円)	10,810,996
財政力指数	0.35
経常収支比率(%)	87.7
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	9.4
将来負担比率(%)	36.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,563,204			
1 経常収益	2,563,204			
(1) 医業収益	2,046,638			
(うち修正医業収益)	1,969,353			
入院収益	1,279,533			
外来収益	649,071			
診療収入計	1,928,604			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	118,034			
(うち他会計負担金)	77,285			
(2) 医業外収益	516,566			
(うち国・都道府県補助金)	188,883			
(うち他会計補助・負担金)	230,775			
(うち長期前受金戻入)	88,238			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,488,879			
2 経常費用	2,488,879			
(1) 医業費用	2,377,580			
職員給与費	1,430,109	69.9	60.2	66.7
材料費	371,470	18.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	223,602	10.9	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	147,868	7.2	11.6	9.2
減価償却費	135,646	6.6	9.0	10.4
経費	433,016	21.2	22.5	28.7
(うち委託料)	220,736	10.8	12.5	13.3
研究研修費	1,326			
資産減耗費	6,013			
(2) 医業外費用	111,299			
(うち支払利息)	34,615	1.7	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	74,325			
純損益	74,325			
累積欠損金	1,538,138			
経常収支比率	103.0		105.6	105.7
医業収支比率	86.1		85.1	80.6
修正医業収支比率	82.8		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	90.6		93.6	90.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,360,717
1 固定資産	1,791,509
(1) 有形固定資産	1,750,085
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	41,424
2 流動資産	569,208
(1) 現金及び預金	173,519
(2) 未収金及び未収収益	372,173
(3) 貸倒引当金()	558
(4) 貯蔵品	24,074
3 繰延資産	-
負債合計	3,656,171
1 固定負債	1,740,675
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,358,856
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	381,819
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	748,943
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	269,609
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	75,504
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	290,000
(8) 未払金及び未払費用	104,839
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,166,553
(1) 長期前受金	1,595,739
(2) 長期前受金収益化累計額()	429,186
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-1,295,454
1 資本金	28,491
2 剰余金	-1,323,945
(1) 資本金剰余金	214,193
(2) 利益剰余金	-1,538,138
負債・資本合計	2,360,717
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	1,295,454
資本不足額(繰延収益控除後)()	128,901
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	308,060	308,060
資本勘定繰入	179,522	179,522
計	487,582	487,582

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	5,789	0.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	大仙市				
病院名	大曲病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,857 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	120	83.5	71.3	70.9
感染症	-	-	-	-
計	120	83.5	71.3	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	77,657
決算規模(千円)	50,030,096
標準財政規模(千円)	28,840,174
財政力指数	0.34
経常収支比率(%)	87.0
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	10.6
将来負担比率(%)	93.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	920,254			
1 経常収益	920,247			
(1) 医業収益	628,321			
(うち修正医業収益)	628,321			
入院収益	544,653			
外来収益	74,510			
診療収入計	619,163			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	9,158			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	291,926			
(うち国・都道府県補助金)	12,722			
(うち他会計補助・負担金)	249,235			
(うち長期前受金戻入)	28,024			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	7			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	854,373			
2 経常費用	853,309			
(1) 医業費用	834,780			
職員給与費	535,478	85.2	60.2	106.2
材料費	35,075	5.6	25.3	8.8
(うち薬品費)	24,549	3.9	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,526	1.7	11.6	1.4
減価償却費	43,702	7.0	9.0	14.3
経費	219,437	34.9	22.5	34.9
(うち委託料)	104,347	16.6	12.5	19.5
研究研修費	978			
資産減耗費	110			
(2) 医業外費用	18,529			
(うち支払利息)	18,434	2.9	1.2	2.4
(3) 特別損失	1,064			
損益	66,938			
純損益	65,881			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.8		105.6	102.7
医業収支比率	75.3		85.1	60.7
修正医業収支比率	75.3		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	27.1		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	39.7		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	27.1		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	78.6		93.6	70.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,351,448
1 固定資産	994,824
(1) 有形固定資産	994,525
(2) 無形固定資産	299
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	356,624
(1) 現金及び預金	255,449
(2) 未収金及び未収収益	99,424
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,656
3 繰延資産	-
負債合計	1,010,572
1 固定負債	502,914
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	478,642
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	24,272
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	181,797
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	121,016
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	29,091
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,590
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	325,861
(1) 長期前受金	677,360
(2) 長期前受金収益化累計額()	351,499
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	340,876
1 資本金	162,914
2 剰余金	177,962
(1) 資本金剰余金	16,906
(2) 利益剰余金	161,056
負債・資本合計	1,351,448
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,235	249,235
資本勘定繰入	74,386	72,746
計	323,621	321,981

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	北秋田市				
病院名	北秋田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	27,304 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	224	63.3	60.2	60.5
療養	48	92.2	86.2	85.6
結核	4	-	12.2	10.8
精神	40	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	320	58.1	55.2	55.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.3	17.8	18.5

設立団体の状況		
人口(人)	30,198	
決算規模(千円)	26,679,565	
標準財政規模(千円)	14,073,742	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.2
	将来負担比率(%)	51.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	647,636			
1 経常収益	647,636			
(1) 医業収益	59,500			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	59,500			
(うち他会計負担金)	59,500			
(2) 医業外収益	588,136			
(うち国・都道府県補助金)	19,268			
(うち他会計補助・負担金)	412,865			
(うち長期前受金戻入)	40,712			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	944,758			
2 経常費用	944,758			
(1) 医業費用	711,618			
職員給与費	-	-	60.2	60.7
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	11.7
減価償却費	310,628	522.1	9.0	9.2
経費	400,990	673.9	22.5	21.2
(うち委託料)	161,964	272.2	12.5	11.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	233,140			
(うち支払利息)	74,421	125.1	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	68.6		105.6	106.9
医業収支比率	8.4		85.1	85.8
修正医業収支比率	-		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	72.9		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	793.9		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	72.9		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	18.6		93.6	96.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,728,035
1 固定資産	4,728,035
(1) 有形固定資産	4,617,842
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	110,193
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,527,690
1 固定負債	4,644,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,532,666
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	111,898
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	254,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	254,602
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	628,524
(1) 長期前受金	1,248,938
(2) 長期前受金収益化累計額()	620,414
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-799,655
1 資本金	3,221,537
2 剰余金	-4,021,192
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,021,192
負債・資本合計	4,728,035
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	799,655
資本不足額(繰延収益控除後)()	171,131
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	227,319	472,365
資本勘定繰入	96,631	256,527
計	323,950	728,892

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6758.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	北秋田市		
病院名	阿仁病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	30,198
決算規模(千円)	26,679,565
標準財政規模(千円)	14,073,742
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	94.2
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	76.8
材料費	-	-	25.3	14.4
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	6.0
減価償却費	-	-	9.0	11.4
経費	-	-	22.5	31.5
(うち委託料)	-	-	12.5	14.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		105.6	103.4
医業収支比率	-		85.1	74.3
修正医業収支比率	-		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	-		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6758.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	北秋田市		
病院名	米内沢総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	30,198
決算規模(千円)	26,679,565
標準財政規模(千円)	14,073,742
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	94.2
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.2
将来負担比率(%)	51.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,513			
1 経常収益	1,513			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,513			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	1,513			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,513			
2 経常費用	1,513			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	76.8
材料費	-	-	25.3	14.4
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	6.0
減価償却費	-	-	9.0	11.4
経費	-	-	22.5	31.5
(うち委託料)	-	-	12.5	14.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,513			
(うち支払利息)	1,513	-	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		105.6	103.4
医業収支比率	-		85.1	74.3
修正医業収支比率	-		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	-		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,008	1,513
資本勘定繰入	6,022	9,034
計	7,030	10,547

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6758.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	仙北市				
病院名	田沢湖病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,006 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	臨		
許可公営企業	許可	看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	60	76.3	81.2	79.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	76.3	81.2	79.4
平均在院日数(一般病床のみ)		142.2	111.8	89.9

設立団体の状況	
人口(人)	24,610
決算規模(千円)	21,864,551
標準財政規模(千円)	12,151,722
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	93.2
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	903,455			
1 経常収益	901,584			
(1) 医業収益	600,696			
(うち修正医業収益)	577,814			
入院収益	367,594			
外来収益	180,371			
診療収入計	547,965			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	52,731			
(うち他会計負担金)	22,882			
(2) 医業外収益	300,888			
(うち国・都道府県補助金)	536			
(うち他会計補助・負担金)	289,678			
(うち長期前受金戻入)	7,943			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,871			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	917,747			
2 経常費用	917,747			
(1) 医業費用	879,765			
職員給与費	491,801	81.9	60.2	76.8
材料費	73,995	12.3	25.3	14.4
(うち薬品費)	32,081	5.3	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,496	5.1	11.6	6.0
減価償却費	67,222	11.2	9.0	11.4
経費	246,140	41.0	22.5	31.5
(うち委託料)	68,469	11.4	12.5	14.5
研究研修費	488			
資産減耗費	119			
(2) 医業外費用	37,982			
(うち支払利息)	14,119	2.4	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-16,163			
純損失	-14,292			
累積欠損金	1,486,252			
経常収支比率	98.2		105.6	103.4
医業収支比率	68.3		85.1	74.3
修正医業収支比率	65.7		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	34.7		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	52.0		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	34.6		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	64.2		93.6	79.7

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,500,564
1 固定資産	8,839,136
(1) 有形固定資産	8,464,667
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	372,600
2 流動資産	661,428
(1) 現金及び預金	24,189
(2) 未収金及び未収収益	619,420
(3) 貸倒引当金()	5,426
(4) 貯蔵品	23,245
3 繰延資産	-
負債合計	11,601,789
1 固定負債	9,687,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,904,684
(2) その他の企業債	340,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,442,784
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,625,569
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	401,081
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,165
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	825,000
(8) 未払金及び未払費用	224,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	288,752
(1) 長期前受金	876,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	587,960
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,101,225
1 資本金	3,911,742
2 剰余金	-6,012,967
(1) 資本金剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-6,297,565
負債・資本合計	9,500,564
不良債務	563,060
実質資金不足額	563,060
資本不足額()	2,101,225
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,812,473
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	312,560	312,560
資本勘定繰入	60,266	60,266
計	372,826	372,826

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	563,060	15.3
令和2年度	468,575	13.4
令和元年度	636,567	16.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	171.2
健全化法上の資金不足額(千円)	563,060
健全化法上の資金不足比率(%)	15.3
地財法上の資金不足額(千円)	903,060
地財法上の資金不足比率(%)	24.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		秋田県	
市町村・組合名	仙北市		
病院名	角館総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	16,034 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 災 輪
許可公営企業	許可	看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	170	73.9	70.8	83.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	36	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	61.0	58.4	68.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.1	15.2	16.2

設立団体の状況	
人口(人)	24,610
決算規模(千円)	21,864,551
標準財政規模(千円)	12,151,722
財政力指数	0.26
経常収支比率(%)	93.2
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	9.3
将来負担比率(%)	99.6

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,727,036			
1 経常収益	3,714,204			
(1) 医業収益	3,077,091			
(うち修正医業収益)	2,947,625			
入院収益	1,826,665			
外来収益	1,006,501			
診療収入計	2,833,166			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	243,925			
(うち他会計負担金)	129,466			
(2) 医業外収益	637,113			
(うち国・都道府県補助金)	169,359			
(うち他会計補助・負担金)	449,378			
(うち長期前受金戻入)	3,427			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	12,832			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,007,897			
2 経常費用	4,005,297			
(1) 医業費用	3,859,775			
職員給与費	1,981,483	64.4	60.2	64.0
材料費	597,491	19.4	25.3	19.9
(うち薬品費)	248,825	8.1	13.3	9.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	320,796	10.4	11.6	9.6
減価償却費	356,754	11.6	9.0	9.9
経費	878,688	28.6	22.5	28.4
(うち委託料)	274,012	8.9	12.5	13.7
研究研修費	41,993			
資産減耗費	3,366			
(2) 医業外費用	145,522			
(うち支払利息)	10,742	0.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	2,600			
損益				
経常損益	-291,093			
純損益	-280,861			
累積欠損金	4,811,313			
経常収支比率	92.7		105.6	104.2
医業収支比率	79.7		85.1	81.4
修正医業収支比率	76.4		82.2	77.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.6		11.3	12.6
他会計繰入金対医業収益比率	18.8		14.9	17.2
他会計繰入金対総収益比率	15.5		11.2	12.9
実質収益対経常費用比率	78.3		93.6	91.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,500,564
1 固定資産	8,839,136
(1) 有形固定資産	8,464,667
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	372,600
2 流動資産	661,428
(1) 現金及び預金	24,189
(2) 未収金及び未収収益	619,420
(3) 貸倒引当金()	5,426
(4) 貯蔵品	23,245
3 繰延資産	-
負債合計	11,601,789
1 固定負債	9,687,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,904,684
(2) その他の企業債	340,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,442,784
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,625,569
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	401,081
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,165
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	825,000
(8) 未払金及び未払費用	224,646
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	288,752
(1) 長期前受金	876,712
(2) 長期前受金収益化累計額()	587,960
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,101,225
1 資本金	3,911,742
2 剰余金	-6,012,967
(1) 資本金剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-6,297,565
負債・資本合計	9,500,564
不良債務	563,060
実質資金不足額	563,060
資本不足額()	2,101,225
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,812,473
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	578,844	578,844
資本勘定繰入	287,142	287,142
計	865,986	865,986

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	563,060	15.3
令和2年度	468,575	13.4
令和元年度	636,567	16.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	171.2
健全化法上の資金不足額(千円)	563,060
健全化法上の資金不足比率(%)	15.3
地財法上の資金不足額(千円)	903,060
地財法上の資金不足比率(%)	24.5

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				秋田県	
市町村・組合名	羽後町				
病院名	羽後病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	10,299 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況	救 臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	58	80.0	72.3	51.1
療養	55	73.1	69.3	62.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	113	76.7	70.8	54.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	14.0	15.0

設立団体の状況		
人口(人)	13,825	
決算規模(千円)	8,985,388	
標準財政規模(千円)	5,666,385	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	87.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,211,969			
1 経常収益	2,211,969			
(1) 医業収益	1,852,844			
(うち修正医業収益)	1,822,344			
入院収益	1,332,264			
外来収益	419,637			
診療収入計	1,751,901			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	100,943			
(うち他会計負担金)	30,500			
(2) 医業外収益	359,125			
(うち国・都道府県補助金)	807			
(うち他会計補助・負担金)	299,500			
(うち長期前受金戻入)	43,625			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,162,572			
2 経常費用	2,162,572			
(1) 医業費用	2,063,693			
職員給与費	1,069,183	57.7	60.2	66.7
材料費	360,778	19.5	25.3	17.8
(うち薬品費)	153,434	8.3	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	185,497	10.0	11.6	9.2
減価償却費	169,937	9.2	9.0	10.4
経費	455,689	24.6	22.5	28.7
(うち委託料)	247,442	13.4	12.5	13.3
研究研修費	5,432			
資産減耗費	2,674			
(2) 医業外費用	98,879			
(うち支払利息)	24,175	1.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	49,397			
純損益	49,397			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.3		105.6	105.7
医業収支比率	89.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	88.3		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.8		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	14.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	87.0		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,576,262
1 固定資産	2,219,889
(1) 有形固定資産	2,219,194
(2) 無形固定資産	695
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	356,373
(1) 現金及び預金	91,310
(2) 未収金及び未収収益	263,607
(3) 貸倒引当金()	6,955
(4) 貯蔵品	8,411
3 繰延資産	-
負債合計	1,377,462
1 固定負債	584,389
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	584,075
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	314
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	390,320
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	195,897
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	73,757
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	122,867
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	402,753
(1) 長期前受金	922,118
(2) 長期前受金収益化累計額()	519,365
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,198,800
1 資本金	1,088,671
2 剰余金	110,129
(1) 資本剰余金	19,636
(2) 利益剰余金	90,493
負債・資本合計	2,576,262
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	277,426	330,000
資本勘定繰入	141,737	20,000
計	419,163	350,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。